

9月

広報

あしや



9月1日は、八朔の日です(旧暦の8月1日)。子どもの健やかな成長を願って行われる八朔の節句は、芦屋町に江戸時代から続く伝統行事で、男の子にはわらで作った「わら馬」を、女の子には米の粉で作った「だごびーな」を飾ります。近年の子どもの減少の影響で行事や技法がなくならないよう、筑前芦屋だごびーなとわら馬の会の皆さんがわら馬づくり講習会や「筑前芦屋だごびーなとわら馬まつり」を開催するなどして、活動を続けています。今年は9月1日～26日、町内各所でわら馬などを展示します。詳しくは19ページをご覧ください。



夢を抱き、挑戦し続けるチャレンジャーたちを紹介します。皆さんからのさまざまな情報をお待ちしています。

東京2020オリンピック聖火リレーのランナー

5月12日、関門海峡ミュージアムで東京五輪の聖火リレー点火セレモニーが行われ、原田孝恵さん（大字芦屋）が参加しました。

原田さんが走るコースは、世界文化遺産に登録されている福津市の「新原・奴山古墳群」の予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の3回目の緊急事態宣言の影響で県内の聖火リレーが中止となり、代わりに行われた点火セレモニーに参加しました。



原田孝恵さんが波多野町長を表敬訪問



△関門海峡ミュージアムのイベント会場で原田さんと福津市の原崎 智仁市長

53万人超の応募に、選ばれたのは約1万人

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会の発表によると、全国の都道府県や公式スポンサー4社による聖火ランナーの募集に対し、延べ53万5717人の応募があり、その中から約1万人がランナーとして選ばれたそうです。原田さんはその1人になりました。

応募した理由

原田さんがランナーになった経緯は、原田さんの夫、真司さんが「こんなチャンスは2度とない！」と孝恵さんの名前で4社のスポンサー全てに応募したそうです。真司さんは、孝恵さんがランナーになるのがふさわしいと思った理由に「芦屋町社会福祉協議会八朔の会で、独居高齢者のためのお弁当作りをボランティアとして行っていること。福岡県食生活改善推進委員の一員として、病気にならないための食事を地元の皆さんに作り、食べてもらっていること」などをあげていました。原田さん自身も「今後もこの活動が末永く続けていけるように努力したい」という地域社会への貢献を考えていたことを志望理由にあげています。また、学生時代は陸上部に所属し、走ることが好きだとも話していました。



△桜の花をモチーフにしたトーチを上から見たところ

聖火リレー点火セレモニーに参加して

「トーチキスで火を受け継ぐと、炎の音が頭の上の方から聞こえ、同時に熱さも伝わってきました。トーチは思っていたより大きくて、聖火ランナーとしての重みも一緒に感じ、一生の思い出になりました」と原田さんは話してくれました。

原田さんのトーチとユニフォームを借りて、9月3日㊦まで役場1階の総合案内横に展示しています。間近で見て、一緒に感動体験をしてみてください。

人口（前年同月との比較）

令和3年7月末日現在	令和2年7月末日現在
13,672 人	13,918 人
6,710 人	6,886 人
6,962 人	7,032 人
6,787 世帯	6,826 世帯

7月分の人の動き

出生…… 4 人	転入……369 人
死亡…… 13 人	転出…… 65 人

9月 Happy Birthday



ひだか しゅうすけ
日高 紱介ちゃん
(高浜町)
令和元年
9月9日生まれ



2歳の誕生日おめでとう♪これからもお兄ちゃん、お姉ちゃんといっぱい遊んで、すくすくと大きくなってね★